※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００４

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　新編　生物基礎　（数研出版）						
副教材等	四訂版　リードLightノート生物基礎　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人と自然について「遺伝子」、「恒常性」、「生態系」という３つの視点を見ると、どのように見えてくるのか？どのように生き、行動すれば人と自然を大切にし、健康な生活を送れるのか？この２つの問題を常に意識して、学び考え続けてください。

２　学習の到達目標

多様な生物も細胞からなり、遺伝子としてＤＮＡを、エネルギーの受け渡しにＡＴＰを使うという共通性をもつことを理解し、人が健康に生きるには個々の細胞の働きによって内部環境が一定に保たれることが重要であること、地球上の多様な生物は気温や降水量等と密接な関係を持つ生態系を構成し物質循環とエネルギーの移動によってつながっていることに気付き、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度と、持続可能な社会づくりに貢献できる力を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。 生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物と遺伝子	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝 光合成と呼吸 遺伝情報とDNA 遺伝情報の発現 遺伝情報の分配	a:「生物と遺伝子」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解し、知識を身に付けている。ＤＮＡの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解し、知識を身に付けている。 b:体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれていることを考察し、導き出した考えを表現している。 c: 生物の多様性と共通性、遺伝現象とＤＮＡに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	探究活動 観察・実験 定期考査	学習状況 観察・実験
2学期	生物の体内環境の維持	体内環境としての体液 腎臓と肝臓による調節 神経とホルモンによる調節 免疫	a:「生物の体内環境の維持」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解し、知識を身に付けている。 b:病原筋などの異物を認識、排除して体内環境を保つ仕組みを考察し、導き出した考えを表現している。 c: 体内環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	探究活動 観察・実験 定期考査	学習状況 観察・実験
3学期	生物の多様性と生態系 生態系とその保全	植生とその成り立ち 植生の移り変わり 気候とバイオーム 生態系とその成り立ち 物質の循環とエネルギーの流れ 生態系のバランスと保全	a: 生態系と物質循環について観察、実験、資料収集などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解し、知識を身に付けている。 b:「生物の多様性と生態系」「生態系とその保全」に関する探究活動を行い、事象や結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c: 気候とバイオーム、生態系のバランスについて関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	探究活動 観察・実験 定期考査	学習状況 観察・実験

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度